
剣道やろうぜ

スグル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

剣道やろうぜ

【Nコード】

N2440F

【作者名】

スグル

【あらすじ】

二人の剣道少年の儚く激しい青春物語。

（前書き）

注意：事情により、話が端折り気味になっておりますので、ご了承ください。

.....

生まれながらに、剣道をやる運命にあった黒田は、ついに宿命のライバル、白井と、県大会個人戦決勝戦で戦うこととなった。

黒田は決勝戦を前にして、防具を着けたあと、部のマネージャーであり、恋人の灰原の手を握る。

「必ず、勝ってくる……」

そう言い残して、黒田は道場に向かう。

向こうには、ライバルの白井が防具を着けながら、冷徹な瞳で微笑みを浮かべた。

宿命のライバル同士、この決勝戦で激しく火花を散らす……。果たして、勝利の行方は……。

次回予告！

ついに、激突する黒田と白井。

非情な白井の突きが、黒田の防具を貫くが、起死回生の胸が白井に当たり、黒田は、ついに決勝戦を優勝！

恋人の灰原とも、ラブラブになり、まさに幸せの絶頂に。

そんな、彼を恨めしそうに見つめる白井は、なぜ！俺に彼女が出来ぬ！と泣き叫ぶのであった！！

次回、『青春なんかいらん！早く終われ！』。

お楽しみに！

.....

決勝戦後の灰原とイチヤつく、ライバルの黒田の姿を見た白井は酒に溺れた。

「うおん、俺は、まるで非モテの権化だ」

ビール瓶を片手に、夜の街を彷徨い歩きながら、白井は泣き叫ぶ。ビール瓶の口から垂れてくる残りのビールは、まるで彼の涙のように、ポツンポツン…とアスファルトに跡を残した。

そんな千鳥足の彼の目の前に、一人の初老の剣道着の男が立ちふさがる。

「ふははは！なんという様だ、白井太郎！これが、かつて『代官山オシヤレ剣道部』の中堅の男の姿か！」

その初老の男の声に、白井の酔いが消し去られ、彼の瞳に光が戻る。

「あつ、あなたは！？」

果たして、白井を再起させた、この男の正体は！？

次回予告！

白井の目の前に現れたのは、かつて、小学生の頃に入団していた伝説の剣道集団、『代官山オシヤレ剣道部』の長、『梅山毒夫』で

あつた。

彼との運命の再開を果たした白井は、帰宅途中に、ラブホテルから出ていく黒田と灰原の姿を見てしまい、雨の中、一人、地面に這いつくばり泣き叫ぶのであつた。

次回、『悲しみは、ボボ・ブラジル作曲の殺しのサンバのように』。

どうぞ、お楽しみに！

.....

地獄稽古により、血反吐を吐きながら、竹刀を振る白井であつた。だが、梅山毒夫は容赦せずに、彼の体にめがけて鞭を打つ。

「なんだ、その素振りは！？やる気がないなら、やめてまえ！！」

先日、思いがけずに目撃してしまった宿命のライバルの黒田が、マネージャーの灰原とラブホテルから出て行く姿を思い出すと、白井の涙は止まらない。きっと、白井の想像を超える、つばぜり合いが行われたに違いない。

しかし、そんな彼の思いをよそに、梅山は厳しい眼差しを向ける。

「再び、黒田と剣を交えるのは、来月の『ワアオ！剣道カーニバル大会』でだ……。その時までには、貴様は、私の稽古をすべて、クリアせねばならない！」

そう激しく檄を入れる師匠をよそに、白井は、黒田と灰原のつばぜり合い模様を想像するのであつた。

次回予告！

とうとう、性欲が抑えきれなくなった白井は師匠を無視して、歌舞伎町へと足を運び、多大な借金を背負うこととなった。そのため、白井は剣の道を諦め、ついにホストとしての一步を踏み出す。しかし、勤め先のホストクラブには、あの運命のライバル、黒田の姿が！？

次回、『下心の下心…！？二重の下心！？』
お楽しみに！

……………

「なんだと…！」

金色に染めた髪の毛をなびかせ、トップのホストとなった黒田が、白井の目の前に立つ。現実が理解出来ない白井に向けて、黒田が強烈な一言を放つ…。

「お前…、あんぱん買ってこい…。釣りはやる」

運命のライバルである黒田が、白井に一万円札を渡す。それを、ありがたく受け取り、コンビ二へと白井は向かうのであった。

「このお釣りで、俺は…」

あんぱんを買いに走る白井。
果たして、あんぱんのお釣りで、彼は何を買ったのだろうか！？

次回予告！

あんぱんのお釣りで、宝くじを買った白井。なんと一等賞を当ててしまい、一夜で大金持ちに。

それを聞いた黒田は、ええ？と驚くが、別にどうでもいいやと、恋人の灰原と仲間達とで、自宅でのバーベキューを楽しむのであった。

次回、『嘘！？でも、優しい嘘！！』

お楽しみに！

.....

宇宙を漂う白井は、かつての故郷、地球を見つめる。ボロボロになった宇宙服からは、空気が漏れている。どうやら、もう助かりそうにない……。

死を覚悟しながら、白井は地球の……、ちょうど、日本の位置に目を向ける。

今頃、黒田はみんなとバーベキューか……、と思いながら、白井は宇宙服のヘルメットで涙を流すのであった。

「ああ……、肉が食べたかった……」

ひび割れたヘルメットの隙間から、白井の涙が漏れた。

次回予告！

宇宙に散った白井！しかし、着ていた宇宙服は大気圏突入可能であつたため、なんとか、地球に帰還。

その頃、仲間と楽しくバーベキューをしていた黒田の元に、なんと、勤め先のホストクラブのオーナーが、コンビーフの食べ過ぎで倒れ、閉店になったとの知らせが！

果たして、二人の少年の運命は！？

次回、最終回、『やばい！太平洋だ！』
お楽しみに！

.....

大気圏突入に成功した白井は、喉が渴いたので、降下した場所の近くにあつたコンビニに入った。

すると、そこで、コーラを購入しようとしている運命のライバル、黒田の姿が…。

「貴様は、黒田！」

「白井…！」

宇宙で激しい戦闘を繰り広げ、地球に降下したばかりでボロボロの宇宙服姿の白井…。

そして、ホストクラブが潰れ、一夜にして借金まみれになり、友人達からは見捨てられ、恋人だった灰原には新しい彼氏が出来たの

を理由に逃げられ、フリーター生活を始めた黒田…。

お互い、その変わり果てた姿で見つめ合う。数日前まで、県大会で試合をしていたとは思えないくらいに、濃厚な時間を生きた二人に言葉はなかった…。

そして、白井は、ふっ…、と口から息をもらし、黒田の肩に手を置く…。

「剣道やろっぜ」

この白井の言葉に、黒田は目に涙を浮かべながら頷いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2440f/>

剣道やろうぜ

2010年10月26日14時55分発行